

ルールを守ってきれいなごみ集積所に！

ごみの出し方については、これまでと変わりありませんが、一部のごみ集積所で資源ごみのペットボトルと空き缶が分別されていなかったり、燃えるごみを指定のごみ袋以外の袋で出すなどルールを守らない箇所が見受けられます。

ルールを守らずに出されたごみは収集できません。また収集日の前日にごみを出すと、カラスや猫がいたずらをしますので、収集日当日に出してください。

ご家庭に配布の「家庭ごみ収集計画表」や「ごみの分別と出し方」をもう一度ご覧いただき、ルールを守ってごみを出してください。

また、ごみ集積所が汚れたままだと、悪臭の原因になり、近所の方にも迷惑となります。各地区の皆様で清掃等の管理をお願いします。ごみの減量化・分別にご協力をお願いします。

◆問い合わせ先 住民生活課 ☎341-8512



「見直そう！農業機械作業安全対策」 ～春の農作業安全確認運動実施中～

全国で毎年多く発生している農作業事故を減らすため、事故が多発する春の作業時期に合わせ農作業安全確認運動が実施されています。

村では、全国的に乗車中の事故が多発している「乗用型農業機械の事故防止」を重点に農作業安全確認運動を推進しています。

【運動の重点事項】

- 乗用型農業機械乗車時のシートベルト、ヘルメット着用徹底
- 転落、転倒の恐れがある場所の確認徹底
- 令和元年以降、作業機付きトラクターの公道走行が可能となったことによる 灯火器設置、安全フレームやシートベルトの未装着機械への追加装備等の対策



イノシシに注意しましょう！

近年、イノシシは農村部だけでなく、市街地の住宅や道路などにも出没しています。事故や被害に遭わないよう次のことに注意しましょう。



【イノシシの習性】

- 本来は昼に行動しますが、人の影響が少ない夜間にも活発に行動します。
- 臆病で比較のおとなしい動物ですが、人間に対して警戒心がなくなると人前でも堂々と行動します。
- 雑食性で基本的になんでも食べます。

【イノシシに遭遇したら】

- 不用意に近づかず、その場を離れる。
- イノシシが近づいてきた場合は、ゆっくりと後ずさりし、イノシシから見えない場所に避難する。
- 子連れの場合は親が興奮していることがあるので、特に注意する。

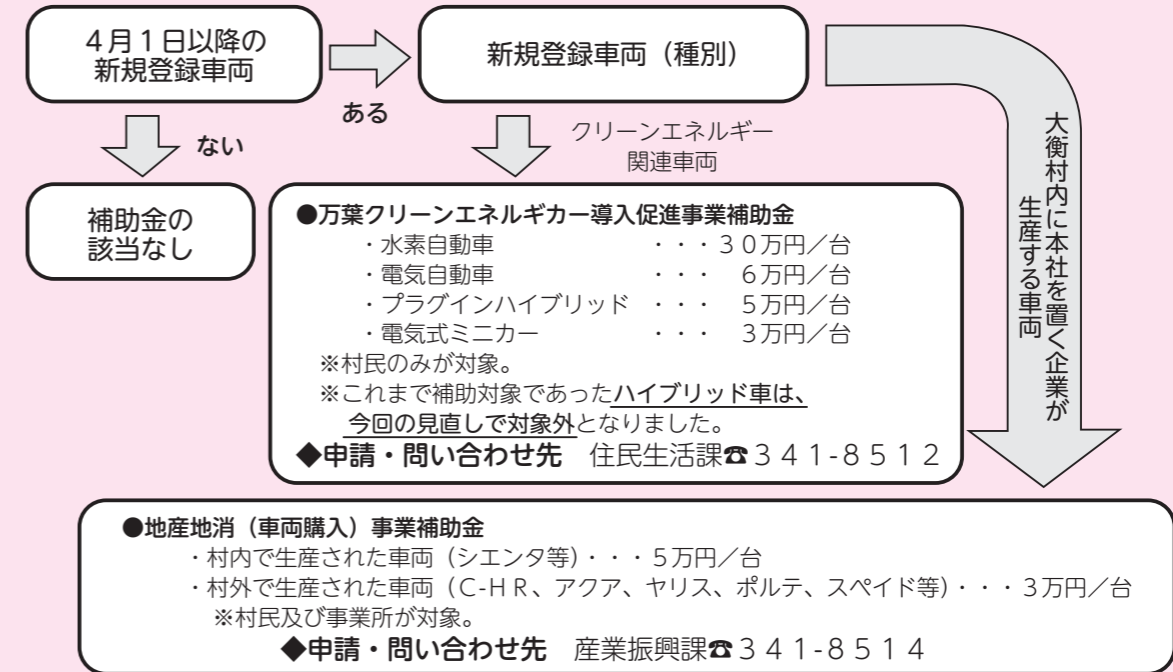
◆問い合わせ先 産業振興課 ☎341-8514



車両購入補助金について



令和2年4月から「地産地消（車両購入）補助事業の導入」及び「万葉クリーンエネルギーカー導入促進事業補助金の見直し」により、自動車購入に対する補助金の取り扱いが以下のとおりとなります。



※4月1日以降に新規登録した車両が補助金の対象となり、登録後2カ月以内に申請が必要となります。
※申請書類は、村ホームページに掲載します。
※該当の可否や申請方法など、詳細は問い合わせください。

環境にやさしい暮らしのために 万葉サンサンエネルギー発電等普及促進事業

村では、二酸化炭素の排出削減や環境負荷の軽減・省エネなど環境にやさしい暮らしを推進するため、次の補助事業を行っております。

補助金の交付要件など詳しい内容については担当課まで問い合わせください。

◆対象

太陽光発電設備・定置用リチウムイオン蓄電池設備・HEMS ※

※HEMS（ホームエネルギー管理システム）とは
家庭においてどれだけのエネルギーをいつ・どこで・何に使用しているか確認できるとともに、家電・電気設備を最適に制御するための管理システム

◆補助額

【太陽光発電設備】

○村内に所在する工場生産された対象システム
太陽光発電設備出力1kwあたり10万円（上限35万円）

○上記以外の対象システム
太陽光発電設備出力1kwあたり5万円（上限17.5万円）

【定置用リチウムイオン蓄電池設備】

設備の購入及び工事費（消費税等を除く）の10分の1（上限10万円）

【HEMS（ホームエネルギー管理システム）】

設備の購入及び工事費（消費税等を除く）の5分の1（上限2万円）

◆申請期間 工事完了後2カ月以内

◆申請・問い合わせ先 住民生活課 ☎341-8512

